

10月18日(月)

神様に見られている

聖書朗読 マタイ6:14~17

キリストに従うように、恐れおののいて真心に従いなさい。

エペソ6:5

私たちは、誰かに気に入ってもらうために無理をしてしてしまうことがあります。若い男性は、好意を持っている若い女性に良い印象を持ってもらおうと、おしゃべりをしながら散歩するのが好きなふりをするかもしれません。実際にデート中は楽しく感じるでしょう。でも、20年の結婚生活の後では、同じ楽しさは感じないかもしれません。気が湧かないときもあります。

山上の垂訓では、イエス様は人に褒められるために何かをすることに対して警告しています。神様だけが知っておられることが多くあります。もちろん、神様の前においては誠実なフリは通用しません。神様は私たちの心を知っておられるからです。神様を騙すことはできません。

今の私たちは、イエス様の時代にユダヤ人たちがしたような断食はしません。パフォーマンスとしての断食を行う儀式が行われていたことはありました。イエス様は、断食であれ、食事であれ、讃美であれ、私たちが行うであろうあらゆる活動を行う時、その動機について注意すべきであると教えておられます。もし、「善い行い」を人前で見せたいという思いになったときは、神様だけが見ておられる場所で、人目を偲んで行うよう、イエス様は仰っておられます。そうすれば、私たちのモチベーションが純粋なものであると確信できます。神だけが私たちを見ておられるのです。

讃美歌 310

祈り 親愛なる主、私たちはときに弱くなり、不純な動機で善い行いをしてしまうことがあります。あなな様に、そして仲間たちに心から仕えることができるようお助けください。あなた様が私たちの心を知っておられることを私は知っています。私が純粋な心を持てるようお助けください。

イエス様の御名によって。アーメン。

スコット・ゲージ

アーカンソー州 フェーエットビル

今日のカ

2021年10月18日~10月24日

翻訳 阿部 やよい

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

10月19日(火)

庭の木の穴

聖書朗読 マタイ6:25~34

だから、わたしはあなたがたに言います。自分のいのちのことで、何を食べようか、何を飲もうかと心配したり、また、からだのことで、何を着ようかと心配したりしてはいけません。
マタイ6:25

ある冬の午後、私は庭の木を見るために外に出ました。そして、松の木に帯状に穴があいているのがつきました。私はショックでした。その穴は地面から1.5mの高さに、幅15cmに渡ってとても規則正しく並んでいました。嫌がらせで誰かが開けたのか、超自然現象なのか？私は詳しく調べてみました。そしてこの穴の犯人がキツツキであることがわかったのです。この驚くべき鳥は、松の木にダメージを与えることなく木に穴を開け、樹液を吸うのです。

はじめは、私の木に穴を開けたこの鳥に苛立ちを感じましたが、しばらくして、イエス様の約束を思い出したのです。「空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養ってくださるのです。あなたがたは、鳥よりも、もっとすぐれたものではありませんか。」神様は私の松の木を使って、体が冷えた、そして飢えた鳥を養ったのだと知ったのです。私の木ではないのです。それは全てのものをお創りになられた神様の木なのです。

私は、ただの世話をする人、管理をする人なのです。神様が小さな鳥を養うために私の木をお使いになられていることに感謝しなければなりません。さらに、神様があなたを、私を、私たち全てを気にかけてくださっていることを思い出させてくれたこの出来事に感謝いたします。

讚美歌 II 191

祈り 親愛なる主、あなた様は聖にして栄えあるもの、ほむべくして恐るべきもの、力の優れた御方です。あなた様のあわれみと愛は、他とは比べものになりません。受けるに値しない私たちに与えて下さるあなた様の大きな愛と思いやりに感謝いたします。
イエス様の御名によって。アーメン。

リーン・マックマイロン
オクラホマ州 オクラホマシティ

10月20日(水)

超軽量か完全装備か

聖書朗読 マタイ10:1~10

旅行用の袋も、二枚目の下着も、くつも、杖も持たずに行きなさい。働く者が食糧を与えられるのは当然だからです。
マタイ10:10

バックパック旅行とは、他の旅行とは全く異なる種類の旅行です。キャンピングカーや快適な生活のための全てが整っているトレーラーで旅に出るのではなく、生活必需品を詰めたバックパックを背負って旅に出かけます。何を持っていくかは、どれくらいの重さを背負えるか、日程の長さ、環境条件、あなたがその旅行をどれくらい楽しみたいかで決まります。ほとんどのバックパッカーはこんな感じだとは思いますが、その中でもいくつかのグループに分けることができるのではないかと思います。例えば、超軽量派のグループ。必要ではないものを究極まで省いていき、本当に最低限のものを、最軽量の形でバックパックに入れます。

今日の朗読箇所から、イエス様は、究極の超軽量派であったことがわかります。しかし、それは全く違う理由からでした。我が主は、何が一番大切なのか、何をすべきなのか、誰を頼るべきなのか、誰を信じるべきなのかを教えるため、荷を軽くされました。着ている物以外は何も持たずに、このような旅に送り出されるなんて、想像できますか？そこまでお父様を信じるなんて、想像できますか？

旅をあなたのクリスチャン生活にあてはめてみてください。借りているトランクルーム、物で溢れた物置、散らかったクローゼット、あなたはどうしますか？

讚美歌 II 142

祈り ご在天のお父様、御名を讚美するとき、あなた様が私たちに気にかけて、備えてくださっていることを思い出させてください。必要のないものを捨て去って、あなた様が私たちに用意して下さったレースを忍耐強く走り続けることができようお助けください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

クリス・フリッツェル
テキサス州 グランベリー

10月21日(木)

ふさわしい者となる

聖書朗読 マタイ10:34~39

ヨハネはみなに答えて言った。「私は水であなたがたにバプテスマを授けています。しかし、私よりもさらに力のある方がおいでになります。私などは、その方のくつひもを解く値打ちもありません。」
ルカ3:16

バプテスマのヨハネは、自分は身をかがめてキリストのサンダルを解くにも値しないと思っていました。しかし、イエス様はある場所で、女から生まれた者のうちバプテスマのヨハネより偉大な者はいないと語りました。イエス様はまたこうおっしゃられています。「私よりも母を、父を、息子を、娘を愛する者は、私にはふさわしくない。」私は、この言葉に戸惑いを覚えます。「ふさわしく」なるというのは、私たちにとってはとても難しい使命です。

もちろん、イエス様は家族をないがしろにしなさいと言っているのではありません。イエス様より家族を優先させてはいけなとおっしゃっているのです。イエス様は私たちの全てを望んでおられます。イエス様は、私たち自身に価値を置くことを望んでおられません。私たちは神のめぐみなしでは生きてはいけません。私たちのために命を捧げられたイエス様の血と犠牲によって、私たちはふさわしいものとなれるのです。

「ふさわしいものとなれるようお助けください。」という讃美歌があります。その歌は「私をふさわしいものとしてください。親愛なる主。私は祈ります。日々与えて下さる素晴らしき賜物を」という歌詞で始まります。私たちのためにイエス様が捧げられた犠牲と愛ゆえに、私たちはふさわしいものとなれるのです。

讃美歌 Thank You Lord

祈り 親愛なる主。キリストのうちにあって頂いた愛とめぐみを心より感謝いたします。私たちは、あなたが払って下さった犠牲にふさわしくないことを知っています。あなた様が先に愛して下さったので、私はあなた様を愛します。
イエス様のお名前によってお祈りいたします。アーメン。

テキサス州アビリン
イアン K. シェルバーン

10月22日(金)

あわれみ

聖書朗読 マタイ15:29~39

神がその愛する方によって私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。
エペソ1:6

イエス様に従った四千人もの人々に食べ物を与えたという素晴らしいお話の中で強調されているのは、いつくのパンを、何匹の魚を彼らに配り、そしてどれだけ残ったかです。この詳細な描写によって、神の驚くべき働きを明らかにされます。そして、この話の中にはもう一つの重要な神のみわざを見ることができます。それはイエス様のあわれみです。

マタイは、食べ物を与えられた四千人全てに対してイエス様がどのように思っていたかは書いていません。

この沢山の群衆の中には、様々な理由でイエス様に従った人がいたでしょう。不純な理由から、もしくは霊的な理由ではなく、むしろ身勝手な理由でイエス様に従った人も多かったことでしょう。それでもイエス様はあわれみの気持から、彼らの全てに食べ物をお与えになられました。イエス様は彼らが食べ物を受けるに値するかどうか、自身の食料を持参しているかどうか聞くことはありませんでした。

イエス様に従った理由に関わらず、イエス様は食べ物を与えられました。イエス様をお手本とし、イエス様のようになりたいと私たちが思うならば、この箇所はとても良いお手本となります。私たちが助けを必要な人に会ったとき、私たちは、まず、この人は本当に助けが必要か、ただ単に怠け者なだけではないか、この人を助けられずについて来られて大変なことになってしまうなどなど、色々なことを考えてはいませんか。私たちは、何も考えずに、今助けを必要としている方に手を差し伸べることができるでしょうか。考えてみて下さい。

讃美歌 522

祈り 親愛なる主、貧しいものに主がともにおられるとおっしゃいました。私のまわりで困っている人全てに、事情や立場関係なく、思いやりの目を向けることができますように。
イエス様の御名によって。アーメン。

オクラホマ州エドモンド
リーン・マックマイロン

10月23日(土)

苦しんでる人へのあわれみ

聖書朗読 マタイ17:14~20

私がキリストを見ならっているように、あなたがたも私を見ならってください。

Iコリント11:1

イエス様は宣教活動中、多くの人々からあわれみを求められました。人々はイエス様は苦しみを和らげる力を持っている方であると信じていたからです。そして、イエス様はその人々の目を開かせ、悪霊を追い出すことによって、あわれみをお示しになりました。

今日の朗読箇所では、弟子たちができなかったことについて、またイエス様が彼らの失敗についてどのように説明されたかについて焦点を当てがちなのですが、この話が明らかにしているもう一つの真実は、とてもシンプルなことなのです。それは、イエス様は苦しみに合わせている人々をあわれまれたということです。父親がイエス様に息子について話をしたとき、息子はすでにひどい苦しみにあっているので、息子をあわれんでくださいとお願いしました(15節)。そしてイエス様は息子を癒やすことであわれみをお示しになりました。

クリスチャンがキリストに見習うことができる一つの方法は、苦しんでいる者にあわれみを示すことです。私たちは、神が私たちに与えてくださったもの全てを使って、他の人の苦しみを和らげることができます。それはお金かもしれません。時間かもしれません。技術、社会的立場かもしれません。おそらく私たちがイエス様のようなになれる最も簡単な方法は、苦しみにあっている人を見つけ、あわれみの気持ちを持ってその人たちに接することです。

讃美歌 537

祈り 主よ、私たちに与えてくださっている多くの助けに感謝いたします。周りの方々の苦しみに気づき、そしてあなた様から与えてくださったものを使ってイエス様のようなになれるようお助けください。

イエス様の美しいお名前によって。アーメン。

ジョシュ・ボイド
インディアナ州 ラファエット

10月24日(日)

子供の言うこと

聖書朗読 マタイ18:1~5

まことに、あなたがたに告げます。あなたがたも悔い改めて子どもたちのようにならない限り、決して天の御国には、はいれません。 マタイ18:3

息子が良い成績をとったので、そのお祝いに私たちはその時に流行っていたレストランに行きました。息子に好きなもの何でも食べて良いと言うと、息子はメニューの中で一番高いチキンポットパイを選びました。料理を楽しんでいる時、私は息子が少ししか食べていないことに気が付きました。ここは親として一言言わねばと、「パイを食べなさい」と息子に言いました。しかし、息子は嫌がったので、私は食べたくても食べられない子どもたちの話を思いつく限りしました。それでも息子は食べようとはしませんでした。そこで、私の料理と息子の料理を交換しました。そして気がついたのです。美味しそうに見えていた息子のパイが恐ろしく不味かったのです。

息子になぜ食べたくないのか、その理由を私は聞くべきでした。1年後、その有名なレストランはチェーン店を含め全て閉店してしまいました。子供の言うことに耳を傾けるべきです。

弟子たちは、イエス様のもとに集まってくる子どもたちを制止しようとしていました。小さな子たちの話を聞くのは主を疲れさせ、迷惑になると思ったからです。イエス様や子どもたちにとってその方がよいと弟子たちは思ったのです。しかし救い主、イエス様は全てをご存知でした。そして仰いました。「私のところに来るのをとめてはならない。天国はこのような者の国である。」そして手をこどもたちの上において、祝福されました。

子どもたちの言葉に耳を傾けることは、イエス様に従う一つの方法です。

讃美歌 457

祈り 我が父、創造主、イエス様は子どものようにあることがどういうことなのかを知っておられました。子どもの目でこの世を見た時、健全な判断ができるように私たちを強めてください

ロバート・ビクター
カリフォルニア州 ダウニー